

グラフ 2-3 10 万人あたりの骨折件数 (点訳例 2 種類)

- (1) グラフから読み取った概数であることを明記する。
- (2) 点訳例1は略称を書き流しにしている。点訳例2は、原本が折れ線グラフであることを書き(これは教科書等の点訳の場合)、略称を1行に1つずつ書いている。
- (3) このグラフから数値を正確に読み取るのはかなり困難。このような場合、グラフから読み取れる傾向を簡単に文章で説明しても良いし、あるいは、本文に同じような説明がある場合には、省略しても良い。

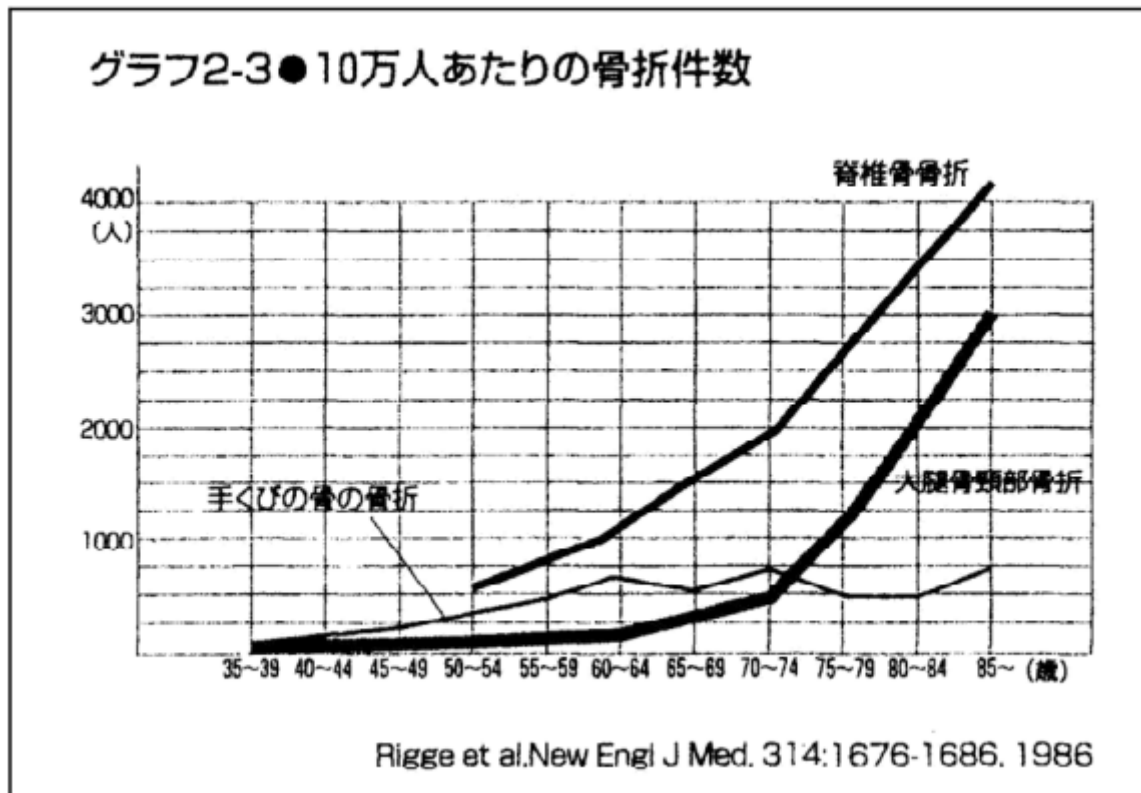
* 文章による説明の例

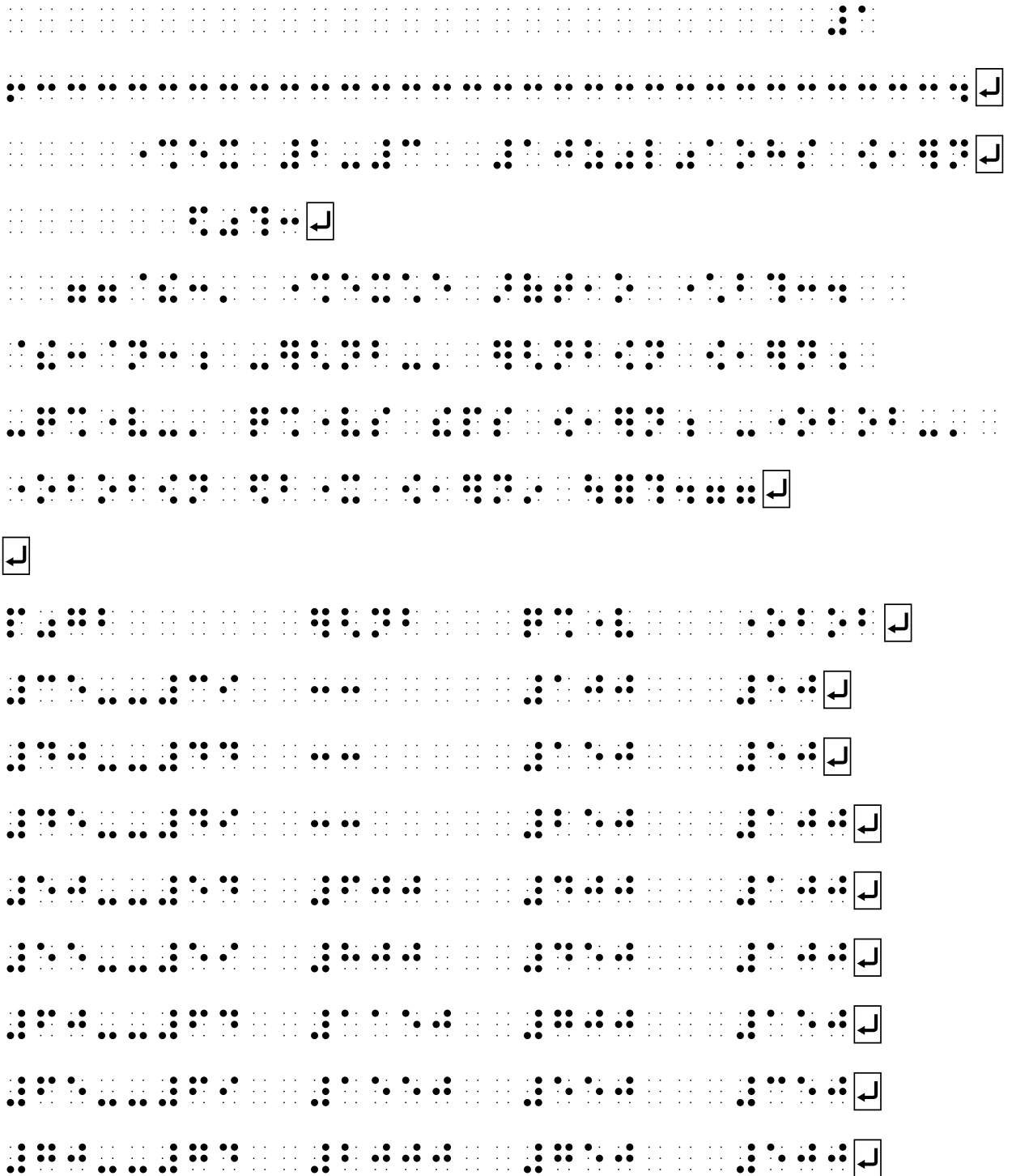
グラフ 2-3 10 万人あたりの骨折件数

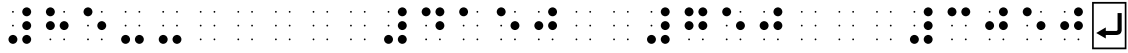
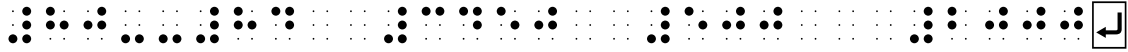
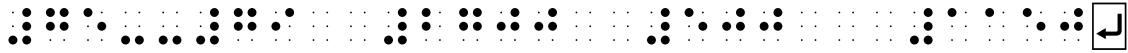
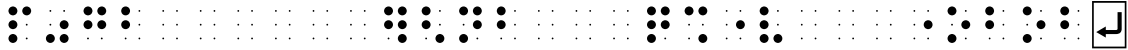
年齢とともに、「脊椎骨骨折」「手首の骨の骨折」「大腿骨頸部骨折」の件数がどのように変化するかを表わしたグラフ。

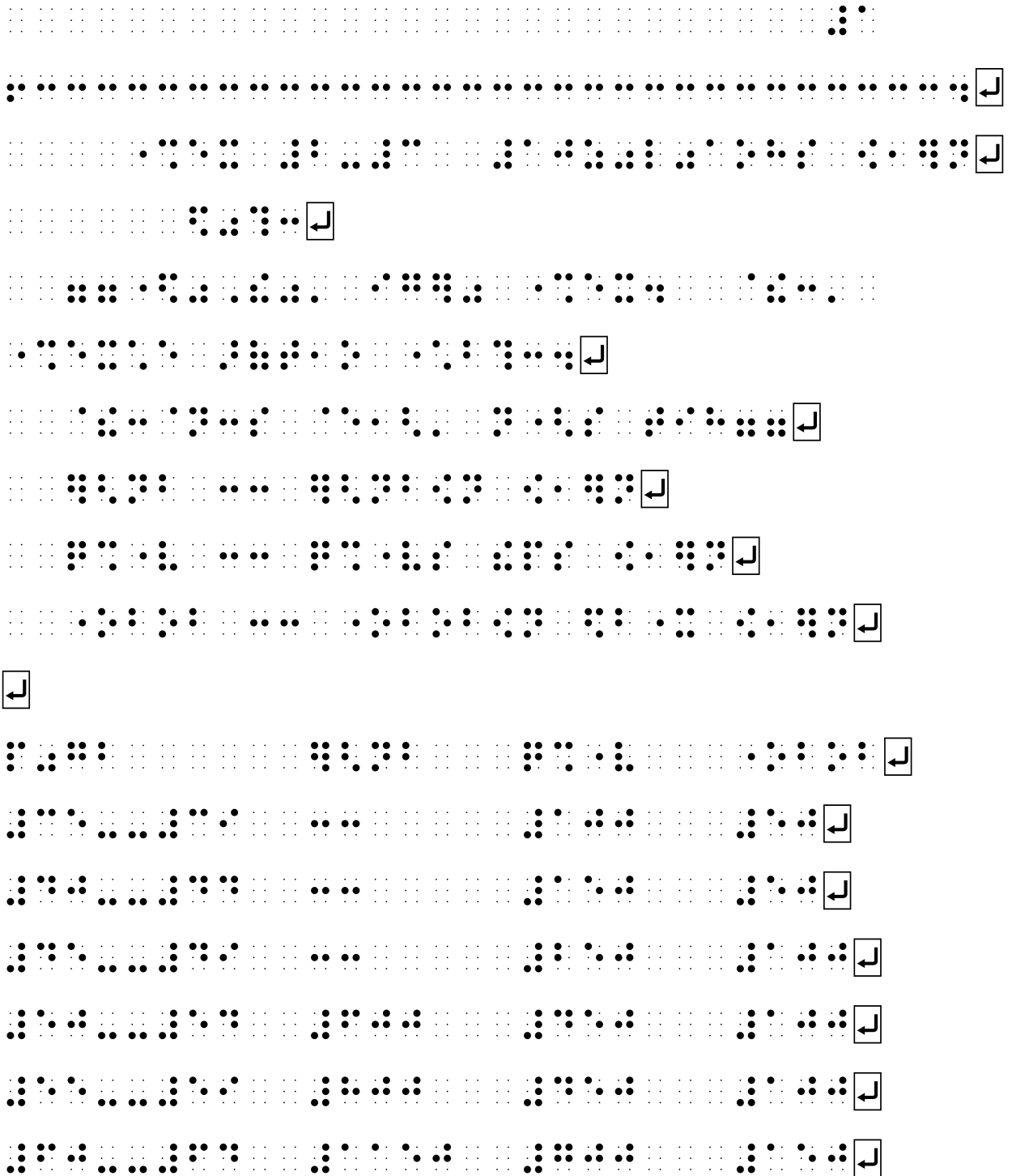
いずれも年齢とともに増加傾向にある。

「脊椎骨骨折」は 60 歳以降とくに急激に増加(70 歳で2千件くらい)。「手首の骨の骨折」は 50 歳以降 500~700 件くらい。「大腿骨頸部骨折」は 75 歳以降とくに急激に増加(80 歳で2千件くらい)。









.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

『音訳事例集—図版の読み方編』より

¥1,650 遠藤美枝子・著

B5判・120 ページ(読書工房)

2024年9月25日初版発行



【音訳見本例】

XXページ図6.1現代社会の社会福祉の諸問題

説明

直角に交わるたて軸とよこ軸によって4つの領域ができます。

たて軸の方がやや長く、上のはしに「社会的排除や摩擦」と書かれています。

下のはしに「社会的孤立や孤独(個別的沈殿)」とあります。

たて軸を上下2:3にわける位の位置によこ軸。よこ軸は右のはしに「貧困」、左のはしに「心身の障害・不安」とあります。よこ軸は右の部分「貧困」の方が少し長くなっています。

この座標軸によってできる4つの領域の中に、よこ長のだ円ワクが6つ、よこ長の長方形のワクが5つおかれています。ワクの中に様々な問題が言葉で書かれています。

たて軸にそって上から読んでいきます。たて軸上方「社会的排除や摩擦」のすぐ下にタテに並び3つの楕円。3つとも「貧困」の方に大きく張り出していますが、たて軸をまたいで左の領域「心身の障害・不安」にも、少しかかっています。上から1つ目「路上死」、2つ目「ホームレス問題」、3つ目「外国人・残留孤児等の問題」です。

たて軸を下にあり、よこ軸近くに2つの長方形のワク。2つのワクとも、たて軸をまたいで左の領域に半分以上かかっています。上のワクが「カード破産等の問題」下のワクが「アルコール依存等の問題」です。

よこ軸をこえて下へ。すぐ下に長方形のワク。右の領域、貧困の方に大きく張り出していますが、ほんの少したて軸をまたいで、左領域にかかっています。「中高年リストラによる生活問題」とあります。

同じくよこ軸のすぐ下、よこ軸左はし近くに長方形ワクで「社会的ストレス問題」。たて軸を少し下へさがり、たて軸をまたぐ形で大きめの長方形ワク。「若年層の不安定問題、フリーター、低所得、出産育児」とあります。さらにたて軸を少しさがり、右の領域のたて軸から離れた所に大きいだ円ワク。「低所得者問題 特に単身高齢世帯」と書かれています。

たて軸にもどり、下の端近くに2つの楕円ワク。2つのワクとも、左の領域「心身の障害・不安」の方に大きく張り出していますが、たて軸をまたいで右の領域「貧困」にも少しかかっています。上のワクに「虐待・暴力」。下のワクに「孤独死・自殺」となっています。

説明おわり。

